

詩で味わう料理本『**飲食のくにではピムパプが民主主義だ—おいしい詩を添えて**』（クオン刊）の出版を記念し、韓国が誇る食の都、全羅道出身の**詩人ホ・ヒョンマン**さんと、福岡在住の**歌人、キム・英子・ヨンジャ**さん、**韓国**の食に詳しい**作家の中沢けい**さんを迎えて**トークショー**を開催します。



おいしい韓国



日時 **10月30日 金**

時間 **18:30~20:00** (開場 18:00)



『**飲食のくにではピムパプが民主主義だ—おいしい詩を添えて**』には、**ホ・ヒョンマン**さんをはじめとする韓国の有名詩人**39人**と**キム・英子・ヨンジャ**さんが、料理をテーマに創作した詩のほか、料理の**写真と解説**が満載！お二人の**ソウルフード**であるという「**ナクチポックム**」と「**祭祀の食卓**」を中心に、**韓国の味**についてたっぷりお話しいただきます。詩と短歌の朗読も予定しています。



会場 **アクロス福岡** | 福岡市中央区天神 1-1-1 1階 円形ホール
tel: 092-725-9112

出演者

中沢けい

1959 (昭和34) 年生れ。千葉県館山市に育ち、18歳の高校在学中に書いた「海を感じる時」で群像新入文学賞を受賞、単行本がベストセラーになる。1985年、『水平線にて』で野間文芸新人賞を受賞。著書に『野ぶどうを摘む』『女ともだち』『豆畑の昼』『さくらさくれ』『楽隊のうさぎ』『うさぎとトランペット』『書評 時評 本の話 1978-2008』『動物園の王子』『麹町二婆二娘孫一人』などがある。

ホ・ヒョンマン (許炯萬)

1945年、全羅南道順天市で生まれる。1973年『月刊文学』に「冥婚」を発表して創作活動を始め、処女詩集『清明』以来、韓国詩壇において「叙情の嫡子」と言われる重鎮である。詩集『燃える氷』(2013)を始め、『陰という言葉』『始発電車』『魂の眼』など十四冊の詩集、評論集『詩と歴史認識』『永郎 金允植研究』ほか、多数の著書がある。邦訳として『耳を葬る』(2014、クオン刊)がある。韓国詩人協会賞、永郎詩文学賞、月刊文学東里賞、順天文学賞、光州芸術文化大賞、全羅南道文化賞(文学)、など多数受賞

キム・英子・ヨンジャ

1960年、福岡県生まれ。長崎県立短期大学英文科卒業(現、長崎県立大学シーボルト校)。14歳で初めて短歌を詠み、23歳の時に朝日新聞の朝日歌壇に初投稿し、初入選。2009年、短歌結社「かりん」入会。2011年、第31回かりん賞受賞。歌集に『サラン』『百年の祭祀(チェサ)』がある。



参加費

1500円

予約

web: <https://goo.gl/Mzvrtm> / tel: 03-5244-5426

お問い合わせ

書肆侃侃房 tel: 092-735-2802

株式会社クオン tel: 03-5244-5426